

平成18年2月10日の臨時議会で、議員が所属する委員会等が決められました。そこで今回は、議会の構成と仕組みをご紹介します。

議会の構成と役割

議長 米田俊信



副議長 窪田一誠



監査委員 桑原米蔵



本会議(平成18年3月議会)

常任委員会

詳細な審議を尽くすため、所管の事務の調査、議案・陳情等を審査することを目的として設置される。

◎委員長 ○副委員長

総務教育

《所管》 地方行財政運営・情報管理・教育行政・消防防災行政について

《委員》

- ◎坂井立朗 ○佐藤康弘
- 細川 均 後藤智文
- 町田信子 米田俊信
- 高嶋清光

産業厚生

《所管》 建設・商工観光・住民生活・農林・健康福祉・上下水道行政について

《委員》

- ◎村井隆夫 ○伊東幸一
- 石川孝一 桑原米蔵
- 窪田一誠 村田 昭
- 中川光久

議場の花

3月は椿



提供 雄山家政専修学校 (吉本澄子校長)

議会はどんなところ？

議会運営委員会

議会の運営・議会関係の条例・規則・議長の諮問に関する事項について審議する。

《委員》

- ◎村田 昭 ○坂井立朗
- 町田信子 窪田一誠
- 村井隆夫 高嶋清光

特別委員会

特定の事項に限って設置される臨時的な機関であって、その事項の審査や調査が終了すればその役割を終える。

立山自然保護

《委員》

- ◎村田 昭 ○細川 均
- 坂井立朗 窪田一誠
- 米田俊信 中川光久
- 高嶋清光

議会広報

《委員》

- ◎桑原米蔵 ○町田信子
- 佐藤康弘 伊東幸一
- 石川孝一 後藤智文
- 村井隆夫



クリーンセンター(末三賀)

一部事務組合

小規模な市町村では賄えない仕事を、複数の市町村で組合を作り事務処理をする。

富山地区広域圏事務組合

《業務》 廃棄物処理(燃えるゴミ・粗大ゴミ・リサイクル)、常願寺ハイツ等の運営。事務局は富山市。平成18年度町負担金は1億6千700万円。

《議会》 富山地区広域圏市町村議会17名で構成。立山町からは、米田議長と窪田副議長。

富山県地域衛生組合

《業務》 富山市・立山町・上市町のし尿処理を行う。平成18年度町負担金は6千950万円。事務局は上市町。

《議会》

1市2町で15名。立山町からは、村田 昭(組合副議長)、桑原米蔵、後藤智文。

中新川広域行政事務組合

《業務》 立山町・上市町・舟橋村の下水道事業および介護保険の運営。事務所は舟橋村。平成18年度町負担金は、7億7千600万円。

《議会》

2町1村で13名。立山町からは坂井立朗、窪田



Net3

一誠、村田 昭、中川光久、高嶋清光。

滑川中新川地区 広域情報事務組合

《業務》 ケーブルテレビ事業、情報化。事務局は滑川市。平成18年度に運営町負担金は6千400万円。

《議会》

滑川市・立山町・上市町で10名。立山町からは、村井隆夫(組合議長)、細川均、町田信子。